

佐渡金銀山の世界遺産登録

暫定リスト入り

政府方針

政府が、国連教育科学文化機関（ユネスコ）に提出する世界文化遺産登録の国内候補の暫定リストに「佐渡金銀山と関連

金銀山」と関連金銀山について単独登録ではなく、二〇〇七年に登録済みの石見銀山遺跡（島根県）のエリアを日本規模に拡大し、例え

ば「石見銀山とその文化」として、これまでに県と佐渡市は佐渡金銀山の暫定リスト入りを目指し、前回審査で再考を求められた「文物交流において世界に与えた影響」などについて修正した上で、提案書を再提出していた。

暫定リスト入りすることで、遺跡保存運動の意識啓発が進むことが期待されるほか、遺跡を活用した観光振興にも弾みがつきそうだ。